

三井鉱山株式会社 及び 韓国/POSCO 社向け コークス乾式消火設備の連続受注

新日鉄エンジニアリング株式会社(代表取締役社長 羽矢 惇)製鉄プラント事業部(事業部長 執行役員 日外 雅人)は、三井鉱山株式会社北九州事業所向け1ABコークス炉用コークス乾式消火設備(以下、CDQ設備)、および韓国POSCO社光陽製鉄所向け新5コークス炉用CDQ設備 2基の計3基を連続して受注しました。

CDQ設備とは、コークス炉で乾留された赤熱コークスを、冷却塔内で不活性ガスをを用いて消火するとともに、従来は放散していた赤熱コークスの顕熱をボイラーで蒸気として回収する設備です。発生蒸気を発電や所内プロセス蒸気として利用する事で環境・省エネ、CO₂排出量削減等の効果が期待されるため、近年注目されている設備です。当社のCDQ設備は、高い設備信頼性と安定した操業実績により国内外で高く評価されています。

当社は、引き続きCDQ設備のトップサプライヤーとして同設備を拡販するとともに、その他の環境・省エネ設備の拡販を通じ、CO₂排出量の削減に貢献していきたいと考えております。

【各計画概要】

< 三井鉱山株式会社向け1ABコークス炉用CDQ設備 >

三井鉱山株式会社北九州事業所は、更なる省エネルギー及びCO₂排出量の削減を実現するため1AB炉用CDQ設備を設置するもの。当社は、同所向けに2ABコークス炉用CDQ設備を納入しており、今回も連続して受注しました。

- ・最大コークス処理量: 約95t/h
- ・スケジュール: 2011年4月末(完工)

< POSCO社向け5コークス炉用CDQ設備 >

POSCO社は、高炉拡大改修に伴うコークス不足解消のため、光陽製鉄所にNo.5コークス炉を新たに建設しており、同時にCDQ設備を2基設置するもの。当社は、これまでPOSCO社に計7基のCDQ設備を納入しており、高い設備信頼性と安定した稼働実績が評価され、今回の2基も継続して双日株式会社と受注しました。

- ・最大コークス処理量: 約180t/h × 2基
- ・スケジュール: 5Bコークス炉用CDQ 2010年9月末(完工)
5Aコークス炉用CDQ 2011年10月末(完工)

(本件に関するお問い合わせ先)
新日鉄エンジニアリング株式会社
総務部広報室 03-3275-6030